

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援 わかば園					公表日	2026年 2月 27日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○							
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		子どもの状態に合わせて、基準より多く配置している。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		登降園時は、駐車場から玄関まで子どもが安全に行き来できるよう職員も注意しています。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		人数・活動内容に応じて環境設定をしている。療育終了後、室内・玩具等の清掃・消毒をおこなっている。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じてパーティションを使用して室内を仕切る等工夫をしている。					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		随時話し合い、療育後は書面での回覧をし、職員の共通理解に努めている。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		面談や日々の保護者への報告時に意向を把握し、業務改善に努めている。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		話し合いを行い、職員の共通理解のもと、業務改善に努めている。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		効果的な外部評価を検討していきます。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		各種の研修会内容を検討し、職員が交替で参加している。					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		法人のホームページに公表している。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		個別に面談を行い、支援計画に反映させている。					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		子どもの支援に関わる職員が子どもの状況(成長・課題等)を理解しあい検討会議を行っている。					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個々の子どもの状況(成長・課題等)を把握しあい、支援に努めている。	専門のプログラムと個別のねらいを踏まえてお返しをしていますが、よりわかりやすい説明に努めていきます。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○							
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		関係機関や保護者からの情報を得て各項目に沿って記載している。専門療法士からの指導・助言を組み込んでいる。					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動案や教材案を話し合うなど個々に応じた支援方法をチームで行っている。					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		季節に合った遊びや、個々の発達に合わせて月の療育案を計画している。					

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		小集団の中で、子ども一人一人に担当職員が ついて個別での関りを行っている。また、個 別の訓練も行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	○		毎回ミーティングを行い、個々の支援内容や 役割分担を確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後に子どもの姿・支援内容・保護者 からの話など報告を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に つなげているか。	○		療育内容や子どもの様子を個別に記録し、回 覧するなど共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性 を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		個別支援計画を元に、随時モニタリングを実 施し、見直しに繋げている。	
関係機 関や保 護者 との 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議 に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者を中心に参加してい る。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の 観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども 園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報 共有と相互理解を図っているか。	○		併行通園先との連絡会を実施し、療育の様子 を参観してもらう等工夫している。	併行通園先の協力を得て連携をとれますが、 頻度は個々により異なる状況です。子どもの 様子や支援内容について更に連携を図ってい きます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		連絡会や移行支援シートを使い、連携を図っ ている。	小学校との連携は、訪問・書面等で行ってい ます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携 を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受け たり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極 的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスー パーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		公開療育への参加や公開療育を行うことで、 他の機関との連携を図っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこど もと活動する機会があるか。	○		年間計画で近隣の保育所との交流を計画し、 実施している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や 課題について共通理解を持っているか。	○		親子通園の為、療育後、子どものねらいに 沿って活動の様子を伝えている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログ ラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機 会や情報提供等を行っているか。	○		ペアレントプログラムや、保護者対象の勉強 会・リフレッシュ講座を実施している。	就労している保護者も参加しやすいように工 夫していきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を 行っているか。	○		入園時の面接の際、重要事項説明書をもとに 説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊 重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家 族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別面談を行い、保護者や子どもの意向を把 握している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者 から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別面談の際、支援内容の説明を行い、同意 の署名をいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応 じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日々の振り返りや個別支援計画・訓練記録を 通して話す機会を設けている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者向けの勉強会やリフレッシュ講座を開催し、保護者同士で交流する機会を設けている。	今後も保護者同士また、兄弟同士が交流できる機会を工夫していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に苦情に関する窓口を案内している。苦情・相談があった際は適切に対応するよう努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月園だよりや行事等の情報を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人のプライバシーポリシーに基づき、入園面接時に説明をし同意を得ている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		親子通園のため、振り返り等直接話をしたり、関わり方を一緒に考えたりしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		7年度は地域に向けた子育て広場を9回開催した。	今後も地域に向けた事業を行っていくよう努めます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		緊急時対応・防犯訓練計画を作成。感染症対応マニュアルを作成し職員に周知している。また、保護者に文書等で周知している。	より安心して利用していただけるよう、保護者への周知に努めていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		業務継続計画（BCP）を作成し、職員へ周知している。	訓練の様子を、園だよりやホームページで情報発信をしていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		入園前の面接で聞き取りをし、職員間で把握し、個々に対応している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		入園前の面接で聞き取りをし、職員間で把握し、個々に対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練等を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画に基づき、緊急連絡簿を作成している。	安全計画に基づいた取り組みについて、今後更に丁寧な説明を行っていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		記録簿を作成し、職員間で回覧、改善法、注意点について周知している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員が研修に参加したり、虐待防止委員会を開き、情報を共有している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		重要事項説明書に基づいて説明をしている。親子通園のため、保護者に療育の様子を参観してもらっている。		